

つはものどもが夢のあと 徳川家康 対 羽柴秀吉 一触即発の地

「小幡森山の城墟たづぬれば、
曲阜むかしを残して、麦浪風空しくわたる
天文の変、天正の乱、人疲れ、馬汗せし跡にぞ、
織田豊臣の栄え衰へ給ひしも、知らぬ世の昔がたりとなりき」
天野信景『塩尻 巻之十八』

守山城址 「守山崩れ」の舞台

三河に松平家の地盤を築き上げた名将・松平清康(家康の祖父)は、織田氏・尾張侵攻のおり、織田信光(信長の叔父)が守る守山城にて、家臣により殺害されました。
この事件は「守山崩れ」と呼ばれ、松平家の凋落の始まりとされています。



宝勝寺の北側に、東西方向の堀跡(幅約15m・深さ約3m以上)、本丸があったとされる土壇(高さ約5m、約20m四方)が残されており、土壇の上に「守山城址」碑が立っています。



天文年間松平清康尾州ヲ略セント欲シ此地ニ陣シ
偶臣下ノ為メニ弑セラレ後織田信秀ニ属シ其ノ支
族ハ数世之ニ居ル 大正五年四月建之

碑文

花にけふ、 風を関守山路哉

大永6年(1526)柴屋軒宗長は「尾張国守山松平与一(信定)館」で行われた千句連歌の会に参加しました。
この時の発句が「花にけふ〜」。守山の地名が巧みに詠みこまれており、この宗長の手記が「守山」の最初の記録であると言われています。



龍泉寺 小牧・長久手の戦い/羽柴秀吉が布陣

庄内川を望む高台にあり、濃尾平野を一望できる天然の要害。小牧・長久手の戦いに際し、羽柴秀吉が一日限りの本陣としました。
また、名古屋城築城に際し、徳川家康が名古屋城の鎮護として定めた尾張四観音の一つで、毎年の節分会は多くの人で賑わいます。

「尾張名所図会 龍泉寺(着色)」▶
(名古屋都市センター所蔵)



龍泉寺より北西方面を望む

宝物館(龍泉寺城)の裏側にある尾根先端部に、秀吉が築いたと伝えられる南北に伸びた堀の一部(長さ約30m、幅約5m)が残ります。
「尾張名所図会 龍泉寺」にも「秀吉公一夜堀址」「太閤岩」が描かれています。



「名古屋市都市計画写真地図」(令和2年名古屋撮影)と「陰影段彩図」(名古屋都市センター作成)を重ね合わせた図 【協力】名古屋都市センター

小幡城址 小牧・長久手の戦い/徳川家康の拠点

守山台地の北縁に立地し、西南に守山城・北東に龍泉寺・前面に小牧・犬山方面を一望できる天然の要害。小牧・長久手の戦いで家康軍の重要な拠点となりました。
その後、廃城となりましたが、大正期までは「一、二土塁の破壊せられたるものの外大体古城絵図の如く現存」(「愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 第四」(大正15年(1926))していました。
現在、これらの遺構は失われていますが、周囲の地形等から往時を偲ぶことができます。

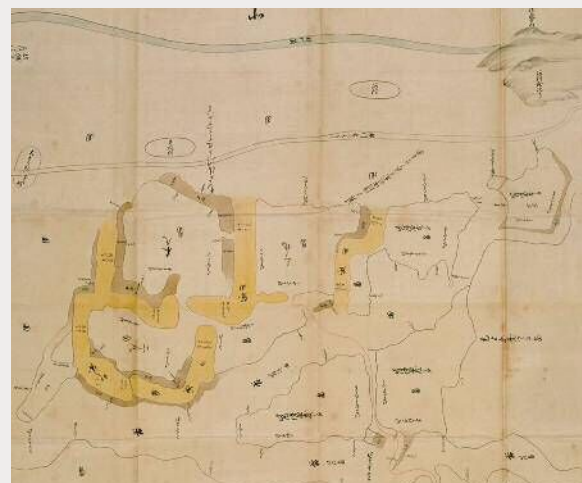


北側より小幡城址を望む(昭和37年頃)

※昭和30年代の写真は、いずれも服部英雄氏(九州大学名誉教授)撮影・提供



本丸址(昭和39年頃)



「春日井郡小幡村古城絵図」(名古屋市蓬左文庫所蔵)

天正12年(1584) 小牧・長久手の戦い 両軍の動き

		東軍 徳川家康・織田信雄	西軍 羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)
4/4			池田恒興 三河中入り作戦を進言
4/6 夜半			【作戦開始】楽田から岡崎へ進軍 池田恒興・森長可・堀秀政・三好秀次(のちの豊臣秀次)
4/8	19時	【先発隊】小牧山 発 大須賀康高・榊原康政・水野忠重	
	20時	【家康本隊】小牧山 発 徳川家康・織田信雄・井伊直政	
	22時	【先発隊】小幡城 入城	池田・森・堀・三好隊 庄内川を渡河
	24時	【家康本隊】小幡城 入城	
4/9	2時	小幡城 発	池田・森隊 岩崎城 攻撃
	4時	白山林の戦い 大須賀・榊原隊 勝利	三好隊 最後尾で駐止中に急襲され敗走
	6時		池田・森隊 岩崎城 陥落
	7時	松ヶ根の戦い 大須賀・榊原隊 勝利	堀隊 勝利 東軍を撃退するも形勢不利と判断し全軍退却
	10時	仙ヶ根の戦い 家康本隊 勝利	池田・森隊 池田恒興・森長可ら主将が討死
	昼頃	家康 小幡城へ帰城	秀吉本隊 敗報を受け、楽田 発
	16時		秀吉 龍泉寺 着
	17時	【家臣】 龍泉寺に夜襲を仕掛けましょう! 【家康】 …勝は重ねぬものぞ。	【秀吉】 家康は小幡城にいる!攻撃せよ! 【家臣】 古来より夕刻以後の攻城は禁じられています。明日にすべし。 【秀吉】 …明朝、小幡城を攻撃する。
	20時 夜半	家康 小牧山へ戻る	秀吉 家康不在を知り楽田へ戻る
	11/11	講和成立	



小幡城址より北東方面を望む

東西百十間(約200m)、南北四十間(約72m)。三つの曲輪からなり、二重堀で馬出しを備えた大規模な城郭であったことがうかがえます。



春日井郡小幡村古城絵図、国土地理院空中写真及び名古屋市都市計画基本図を加工し作成した図(梶昌明氏提供)